

研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して（3年次）

# ~TANKYU~

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2023. 7. 27  
No.28 文責 小林

第3学年 国語科 「山小屋で三日間すごすなら」

## 3年 授業研究 成果と課題

個人研究のテーマについて

◇友だちとともに学び、自ら学ぼうとする子の育成

視点1 対話的な学びについて

- ・ 全員が意欲的に参加して、30分間話し合いを続けていた。
- ・ 自分から話せなくても、友だちから言葉をかけてもらって自分の考えを話すことができた。
- ・ 付箋紙を色別にしたことで、みんなの考えた持ち物を5つの中に入れて取り入れようとしていた。
- ・ 話し合いの時間が短くてもよさそうなグループがあった。



視点2 机間指導の工夫と効果について

- ・ どのグループも話し合いをスムーズに進められるような条件を与えたうえで、子どもたちにグルーピングさせた。
- ・ 話し合いのポイントを事前に確認したことが、集中した話し合いにつながった。
- ・ 話し合いが停滞していたグループに、教師が「何をしたいのか」を問うことで、持ち物を考え直すことができた。



視点3 対話の評価について

- ・ 目に見える考えの過程で判断したり、個別で聞き取ったりする。
- ・ どんな考えで折り合いをつけたかを、ふり返りで書かせる。
- ・ 次の話し合いで、どんなことが大切だったかをまとめていく中で評価していく。

【秋葉指導主事のご指導から】

- ・ 教科書に掲載されている仮定の話なので、子どもたちは自分事として話し合いをすることは困難だったのではないかと。
- ・ 子ども同士で相互評価を行うこともできる。